

フランス語初級I
Elementary French 1

演習 1単位 1学期

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟501室

【授業目的及び達成目標】

実際に使えるフランス語の習得を目標にする。フランス語が読めて発音できること。文構成の基礎知識の習得。初歩的な口頭表現ができるようになること。本学の教育目的1に該当。

【授業キーワード】

フランス語。初級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

口頭表現の練習に重点を置いた参加型の授業を目指す。初歩なので、フランス語の発音と綴りの読み方から始め、基本的な文法項目順に授業を進める。フランス人に通じる範囲内の発音ができるようになることと日常生活における基本語彙の習得を念頭に置きつつ、基本的な文法事項を学んでゆく。文法事項は簡単な口頭表現に必須なものを厳選し、それをを用いた表現を使うことによって覚えてゆく。文法知識の詰め込みに終わることのないよう、先を急がず、随時復習をしながら授業を進める。

【授業項目】

1. フランス語の音、挨拶の表現
2. フランス語の文字と発音、日本語になったフランス語
3. 名詞と冠詞、注文の表現
4. 形容詞
5. 主語人称代名詞と動詞être
6. 名詞と形容詞の特殊な女性形・男性形・単複形・複数形
7. 動詞êtreを用いた文の否定文・疑問文
8. 会話練習
9. 所有形容詞、指示形容詞
10. 数1～20、時刻の表現
11. 会話練習
12. 動詞avoir
13. 第1群規則動詞aimer、arriver quel
14. 会話練習
15. 1学期の総復習

【教科書】

オリジナルテキストを使用。プリントを配布する。

【参考書】

辞書『クラウン仏和辞典』三省堂

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験の成績によって評価する。ただし、授業参加に熱意なしと認める場合は減点する。

【留意事項】

未知の外国語を習得するにはある程度の努力と忍耐が必要とされるのが現実ですが、できる限り楽しく学びたい。最初の授業で、授業の仕方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。私語は授業妨害になるので、厳禁します。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。

フランス語初級Iとフランス語初級IIをとおして履修してはじめて、初等フランス語をひととおり修得することになるので、両者の継続的履修が望まれます。

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 501室

【授業目的及び達成目標】

実践的なフランス語力の養成を目指す。フランスに旅行したとき自分の用をどうにかまかなえる会話力を身につけること。本学の教育目的1に該当。

【授業キーワード】

フランス語。初級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

フランス語初級Iの学習方法を継続する。習った文法知識の範囲内で、フランスに行ったときに、買い物をし、レストランで食事をし、地下鉄に乗るといった場合に必要会話表現を身につけることに重点を置く。

【授業項目】

1. 不規則活用動詞 aller、venir、定冠詞の縮約
2. 命令文、代名詞の強勢形
3. 会話練習
4. 近い未来・近い過去の表現
5. 天候の表現、四季、月名、年月
6. 会話練習
7. 疑問代名詞
8. 不規則活用動詞 vouloir、pouvoir、savoir
9. 会話練習
10. 代名詞の目的語形
11. 代名動詞
12. 会話練習
13. 過去の表現 1
14. 過去の表現 2
15. 2学期の総復習

【教科書】

オリジナルテキストを使用。プリントを配布する。

【参考書】

辞書『クラウン仏和辞典』三省堂

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験の成績によって評価する。ただし、授業への参加熱意がないと判断される場合は減点する。

【留意事項】

受講者はすでにフランス語初級Iを履修している(単位を取得したかどうかは問わない)という前提で講義をします。最初の授業で、授業の仕方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。私語は授業妨害になるので、厳禁します。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 501室

【授業目的及び達成目標】

自分の身元および日常生活について口頭で表現する力と、初歩的な旅行会話力を身につけること。本学の教育目的1に該当。

【授業キーワード】

フランス語。会話。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

日常会話の練習を通じて、フランス語初級I、IIで学習した項目を復習し、初級程度のフランス語の知識を確かなものにする。フランス語圏に旅行した場合あるいはフランス等からの訪問者との対応に必要な会話の基本的な表現を練習する。適宜プリントを配布する。

【授業項目】

1. 発音の復習
2. 挨拶の表現
3. 名前や職業を言う
4. 住んでいるところ、学んでいることを言う
5. 持ち物を言う、好みを言う
6. 待ち合わせの約束をする
7. 数量・程度の表現
8. 天候の表現
9. 空港での表現
10. 駅での表現
11. 喫茶店での表現
12. レストランでの表現
13. ホテルでの表現
14. 買い物の表現
15. 総合練習

【教科書】

プリントを配布。

【成績の評価方法と評価項目】

授業における平常点 50%
学期末試験 50%
最後に、一人ずつ会話試験を行います。

【留意事項】

実習科目なので出席は重要です。ただし、積極的に会話に参加することが求められ、黙っていることは認めません。私語は授業妨害になるので厳禁します。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習よりは復習のほうが重要です。受講者の要望も可能な限り取り入れます。

【担当教員】

稲垣 文雄

【教員室または連絡先】

物質・材料 経営情報1号棟 501室

【授業目的及び達成目標】

フランス語の構文把握力を身につけ、情報伝達を目的とした文章の解釈力を養成することを目指す。達成目標は、辞書や参考書をたよりに、独力で平易な論文の概要が理解できるようになること。本学の教育目的1に該当。

【授業キーワード】

フランス語。解釈。

【授業内容及び授業方法】

まず、フランス語初級では学習しなかった文法事項を学習しながら、初歩的なフランス語文の解釈練習をおこなう。次に、情報伝達を目的とした平易なフランス語文解釈の練習をする。最初は学習用にライトされた教材、次いで、フランスの小学生を対象とした新聞記事、フランスの中・高校生対象の新聞記事に移り、最終的にはインターネット上の一般的記事の比較的平易な文章を教材とする。はじめは教師と共に辞書を引きながら解釈のプロセスを実地に練習する。その後、毎回受講者にテキストを訳してもらい、随時、文法的復習と補足説明を加えながら、じっくり着実に解釈練習をおこなう。進度はゆっくりなので、充分ついてゆけるはず。

【授業項目】

以下の項目を、受講者の理解度をみながら順次おこなう。

1. 初級文法項目の復習
2. 直説法複合過去
3. 解釈練習
4. 直説法半過去・大過去
5. 解釈練習
6. 中性代名詞
7. 解釈練習
8. 関係代名詞
9. 解釈練習
10. documents authentiques の解釈演習と適宜文法説明

【教科書】

プリントを配布。

【成績の評価方法と評価項目】

評価方法

授業における平常点 50%

学期末試験 50%

学期末試験は、持ち込み制限なし(携帯電話は禁止)で、平易なフランス語の文章を訳していただく。

評価基準

辞書、教科書等を参照しながら独力で平易なフランス語文を解釈する力量に応じて評価する。

【留意事項】

最初の授業で、授業の進め方を具体的に説明しますから、納得したうえで受講してください。受講者の要望も可能な限り取り入れます。

授業中に生じた疑問点は後回しにせずその場で解決すべきなので、気軽に質問をしてください。初歩的なこと・同じことを繰り返し質問してもとがめられることはありません。予習中にわからない箇所があったら、無理をせず、授業のときに申し出ること。説明をしながらみんなでやってみます。予習が間に合わなくても授業に出ること。いちいちとがめ立てはしません。

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

ドイツ語の発音と文法の基礎を学ぶことにより、初歩的なドイツ語能力を習得する。

【授業キーワード】

動詞の現在人称変化、名詞の性、前置詞の格支配

【授業内容及び授業方法】

ドイツ語の発音と文法を教科書にそって学習する。

【授業項目】

動詞の現在人称変化、名詞の性と数、人称代名詞、未来時刻、接続詞、前置詞、分離・非分離動詞、命令形

【教科書】

橋本政義 他「楽しく学ぼう ドイツとドイツ語」三修社

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

予習・復習および宿題は必ず行うこと。

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

1学期に続き、ドイツ語の発音と文法の基礎を学ぶことにより、初歩的なドイツ語能力を習得する。

【授業キーワード】

形容詞、語法の助動詞、現在完了形、受動文

【授業内容及び授業方法】

ドイツ語の発音と文法を教科書にそって学習する。

【授業項目】

形容詞、語法の助動詞、過去人称変化、現在完了形、分詞、再帰動詞、受動文、関係代名詞

【教科書】

橋本政義 他「楽しく学ぼう ドイツとドイツ語」三修社

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

予習・復習および宿題は必ず行うこと。

ドイツ語中級I
Intermediate German 1

演習 1単位 1学期

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

「ドイツ語初級」で習得した文法知識をさらに確実なものとし、読解力をはじめとしてより高度なドイツ語能力を身につける。また、言葉の背景にある生活や文化についても学ぶ。

【授業キーワード】

文法の復習、読解力の向上、表現力の養成、ドイツとドイツ語、ドイツの社会

【授業内容及び授業方法】

教科書にそって文法の復習を行うと同時に、さまざまなドイツ語の文章を読むことによって読解力を高め、かつドイツの文化や社会について学ぶ。

【授業項目】

スポーツ、政治、文化、社会

【教科書】

橋本政義 他「グレードアップドイツ語 ― 初級から中級へ」郁文堂

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、中間試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

「ドイツ語初級I、II」を履修しているか、それと同等のドイツ語能力を有していること。

【担当教員】

宮内 俊至

【教員室または連絡先】

非常勤講師

【授業目的及び達成目標】

総合的なドイツ語能力を習得し、同時にドイツに関する知識を豊かにする。

【授業キーワード】

文法の復習、読解力の向上、表現力の養成、ドイツ語とドイツ、ドイツの社会

【授業内容及び授業方法】

教科書や配布資料をもとに、さまざまな種類の文章に接して読解力の向上を目指す。
また、ドイツをはじめドイツ語圏の国々についても学ぶ。

【授業項目】

経済、教育、余暇、その他

【教科書】

橋本政義 他「グレードアップドイツ語 ― 初級から中級へ」郁文堂

【成績の評価方法と評価項目】

定期試験、中間試験、学習態度、出席状況などにより総合的に評価する。

【留意事項】

「ドイツ語中級I」を履修しているか、それと同等のドイツ語能力を有していること。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

四声が正しく言える。ピンイン(発音記号)が読める。初歩的な会話ができる。基礎的文法事項を身につける。

【授業キーワード】

中国語。入門。コミュニケーション

【授業内容及び授業方法】

コミュニケーションに重点を置いた参加型の授業を行う。

【授業項目】

1. 中国語について
2. 発音
3. 人称代名詞
4. ”是”の文
5. ”吗”の疑問文
6. 自己紹介
7. これ・それ・あれ
8. 疑問詞”什么”
9. 形容詞の文
10. 選択疑問文
11. 数の数え方
12. 月・日・曜日の言い方

【教科書】

『中国語10課』方如偉・王智新・鏡屋一著、白水社出版

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。

【留意事項】

中国語のコミュニケーション力をつけることを重視しているので、積極的に授業に参加することを望む。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

初歩的な会話ができる。基礎的文法事項を身につける。

【授業キーワード】

中国語。初級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

コミュニケーションに重点を置いた参加型の授業を行う。

【授業項目】

1. 動詞の文
2. 進行形
3. 時刻の言い方
4. 疑問詞の”呢”
5. 所有・所在
6. ～したいです
7. ～してください
8. 反復疑問文
9. 量詞
10. ～ができます
11. ～が好きです
12. 経験

【教科書】

『中国語10課』方如偉・王智新・鑑屋一著、白水社出版

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。

【留意事項】

中国語のコミュニケーション力をつけることを重視しているので、積極的に授業に参加することを望む。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

中国語のコミュニケーション能力を高める。文法を習得する。語彙を増やす。

【授業キーワード】

中国語。中級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

コミュニケーションに重点を置いた参加型の授業を行う。

【授業項目】

1. たずねる(年齢/数量/程度/類別/場所)
2. 動作行為の進行
3. 動作行為の持続
4. 動作の結果の残存
5. 動作の方式
6. 量詞

【教科書】

『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』相原茂・喜多山幸子・魯晓琨著、朝日出版社。

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。

【留意事項】

中国語の基礎的知識があることを前提として授業を行う。

【担当教員】

梅田 純子

【教員室または連絡先】

非常勤講師
umeda@chinanetwork.jp

【授業目的及び達成目標】

中国語のコミュニケーション能力を高める。文法を習得する。語彙を増やす。

【授業キーワード】

中国語。中級。コミュニケーション。

【授業内容及び授業方法】

コミュニケーションに重点を置いた参加型の授業を行う。

【授業項目】

1. 方法のたずね方・答え方
2. 場所のたずね方・答え方
3. 介詞(从/离/在/往/给/跟)
4. 時間のたずね方・答え方
5. 番号のたずね方・答え方
6. 能願動詞

【教科書】

『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』相原茂・喜多山幸子・鲁晓琨著、朝日出版社。

【参考書】

授業時適宜知らせる。

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験、提出課題、授業中の取り組み姿勢を総合的に評価する。

【留意事項】

中国語の基礎的知識があることを前提として授業を行う。

【担当教員】

金光林

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

韓国語の授業を通して、韓国語の文字と発音を習得し、簡単な会話ができ、比較的簡単な文章が読めるし、書けるようにしたい。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

【授業キーワード】

ハングル、母音と子音、パッチム(終声)、基本表現など

【授業内容及び授業方法】

最初の数回の授業を通して韓国語の文字と発音を勉強し、それから韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」、「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テスト、または練習を積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均3回の授業で1課目ずつ学ぶ。

【授業項目】

1. 第1課 ガイダンス、基本母音
2. 第2課 基本子音
3. 第3課 基本子音・二重母音
4. 第4課 基本子音・濃音
5. 第5課 パッチム(終声)・日本語のハングル表記
6. まとめ(1)
7. 第6課 こんにちは。(1)
8. 第6課 こんにちは。(2)
9. 第6課 こんにちは。(3)
10. 第7課 はじめまして。(1)
11. 第7課 はじめまして。(2)
12. 第7課 はじめまして。(3)
13. まとめ(2)
14. 韓国の社会と文化
15. 学期末試験

【教科書】

韓国語教育開発研究院『美しい韓国語1-1』(ECO Language Center、2005年)

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

【留意事項】

韓国語初級Iを学んだ受講生は、韓国語初級IIまで履修することが望ましい。1年ぐらい学んでこそ韓国語の基本が身につくはずである。

【担当教員】

金光林

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

1学期の勉強の基礎の上に立って、2学期にはもう少し豊かな韓国語の会話・表現を学び、基本的な文法を学び、聴解・作文の練習も行なう予定である。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

【授業キーワード】

パッチム(終声)、発音の変化、用言の活用、敬体、基本表現など

【授業内容及び授業方法】

基本的にテキストに基づいて、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テスト、または練習を積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均3回の授業で1課目ずつ学ぶ。

【授業項目】

1. 第8課 これは何ですか。(1)
2. 第8課 これは何ですか。(2)
3. 第8課 これは何ですか。(3)
4. 第9課 週末に何をしますか。(1)
5. 第9課 週末に何をしますか。(2)
6. 第9課 週末に何をしますか。(3)
7. 第10課 ピエールさんの事務所は何階ですか。(1)
8. 第10課 ピエールさんの事務所は何階ですか。(2)
9. 第10課 ピエールさんの事務所は何階ですか。(3)
10. 第11課 電話番号が何番ですか。(1)
11. 第11課 電話番号が何番ですか。(2)
12. 第11課 電話番号が何番ですか。(3)
13. まとめ
14. 韓国の社会と文化
15. 学期末試験

【教科書】

韓国語教育開発研究院著『美しい韓国語1－1』(ECO Language Center, 2005年)

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

【留意事項】

韓国語初級II は韓国語初級I を修了した上で履修することが望ましい。

【担当教員】

金 光林

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

大学の授業で韓国語を1年程度学んだ学生を対象に、韓国語の基礎を復習・応用しながら、さらに中級程度の韓国語を学び、韓国語の実力が一段とレベルアップできるようにしたい。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

【授業キーワード】

ハングル、母音と子音、パッチム(終声)、発音の変化、基本表現など

【授業内容及び授業方法】

基本的にテキストに基づいて、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テスト、または練習を積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均2・5回の授業で1課目ずつ学ぶ。

【授業項目】

- 1・2: 第1課 今どこへ行きますか。
- 3・4: 第2課 韓国語の辞書が買いたいです。
- 5: まとめ(1)
- 6・7: 第3課 韓国語の辞書1冊と葉書5枚です。
- 8・9: 第4課 友達に小包を出しに行きます。
- 10・11: 第5課 試験が何日ですか。
- 12・13: 第6課 午前11時に会議があります。
- 14: まとめ(2)
- 15: 学期末試験

【教科書】

韓国語教育開発研究院著『美しい韓国語1-2』(ECO Language Center,2006年)

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

【留意事項】

韓国語初級を履修した(あるいはそれと同じ実力のある)学生を対象にした授業である。

【担当教員】

金光林

【教員室または連絡先】

非常勤講師 E-mail:kgl@human.nsu.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

大学の授業で韓国語を1年程度学んだ学生を対象に、韓国語の基礎を復習・応用しながら、さらに中級程度の韓国語を学び、韓国語の実力が一段とレベルアップできるようにしたい。授業においては、適宜に韓国・朝鮮の社会と文化も紹介する予定である。

【授業キーワード】

ハングル、母音と子音、パッチム(終声)、発音の変化、基本表現など

【授業内容及び授業方法】

基本的にテキストに基づいて、韓国語の会話と表現、文法を学び、読む・書く・聞く・話すなどの多様な練習を行いながら、韓国語がしっかり身につくようにする。語学の授業であるため、受講者には単に講義を聞くという姿勢ではなく、毎回の授業に韓国語を必ず「読む」、「書く」「話す」という積極性を求めたい。勉強効果を上げるため、小テスト、または練習を積極的に行い、定期的に宿題を課す予定である。テキストの各課目は平均2・5回の授業で1課目ずつ学ぶ。

【授業項目】

- 1・2: 第7課 大学を卒業し、すぐ就職しました。
- 3・4: 第8課 時間があれば民俗村へ行く予定です。
- 5: まとめ(1)
- 6・7: 第9課 スウォン駅まで地下鉄で時間がどれくらいかかりますか。
- 8・9: 第10課 市庁駅で1号線に乗り換えるべきです。
- 10: まとめ(2)
- 11・12: 第11課 1番出口から出てください。
- 13: まとめ(3)
- 14: 韓国の社会と文化
- 15: 学期末試験

【教科書】

韓国語教育開発研究院著『美しい韓国語1-2』(ECO Language Center,2006年)

【成績の評価方法と評価項目】

学期末試験60%、平常点40%(授業中の小テスト、出席状況)による総合評価

【留意事項】

韓国語初級を履修した(あるいはそれと同じ実力のある)学生を対象にした授業である。

【担当教員】

石崎 チャネル

【教員室または連絡先】

非常勤講師
英語ないしスペイン語で下記にメールで連絡して下さい。
chanel@nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

基礎的なスペイン語の語彙と文法を理解することにより基礎的なスペイン語の会話を聞き取り、及びスペイン語で簡単な文章を読めるようにする。
Provide basic vocabulary and grammar to understand spoken Spanish, and read simple Spanish texts

【授業キーワード】

スペイン語語彙、スペイン語文法 数詞
Spanish vocabulary, grammar, and cardinal number

【授業内容及び授業方法】

教室内の読解、会話を行い。宿題により書く能力を養う。
Readings and conversations in the classroom plus written exercises as homework

【授業項目】

- 第1週 スペイン語のアルファベット El alfabeto
- 第2週 I. 基数(0から20まで) Los números (del 0 al 20)
II. よく使う表現 Expresiones útiles
III. あいさつ Saludos
- 第3週 I. 紹介 Presentación
II. 基数(20から100まで) Los números (del 20 al 100)
- 第4週 国籍と言語 Nacionalidades y lenguas
- 第5週 職業と職場 Lugares y profesiones
- 第6週 住所と電話 Dirección y teléfono
- 第7週 今までの復習
- 第8週 中間試験
- 第9週 あなたそれともお前 Usted o tú
- 第10週 家族 La familia
- 第11週 ..である、..です、持っている、身につけている Es, esta, tiene, lleva
- 第12週 I. 基数(101から数百万) Los números (desde el 101 a los millones)
II. 「どれ」と「どちら」 ¿Cuál? / ¿Cuáles?
- 第13週 復習
- 第14週 最終試験
- 第15週 最終試験の結果を見ながらの演習

【教科書】

“Español útil para japoneses (日本人のための役に立つスペイン語)”, ジョルディ・ジュステ、坂東省次 (2003), 朝日出版社、その他必要に応じて印刷物を配布する

【成績の評価方法と評価項目】

宿題 30%、中間試験 30%、最終試験 40%.

【留意事項】

授業には遅刻をしないこと

【担当教員】

石崎 チャネル

【教員室または連絡先】

非常勤講師室
英語ないしスペイン語で下記にメールで連絡して下さい。
chanel@nagaokaut.ac.jp

【授業目的及び達成目標】

基礎的なスペイン語の語彙と文法を理解することにより、基礎的なスペイン語の会話及びスペイン語で簡単な文章を読み書き出来るようにする。

Provide basic vocabulary and grammar to understand spoken Spanish,
be able to communicate in Spanish and read as well as write simple
Spanish texts

【授業キーワード】

スペイン語語彙、スペイン語文法 序数
Spanish vocabulary, grammar and ordinal number

【授業内容及び授業方法】

教室内の読解、会話を行い。宿題により書く能力を養う。
Readings and conversations in the classroom plus written exercises
as homework

【授業項目】

- 第1週 方向と場所を表す Dirección y lugar
- 第2週 I. 命令形 Imperativos
- II. 序数 Números ordinales
- 第3週 I. 何時ですか。 ¿Qué hora es?
- II. 曜日 Los días de semana
- 第4週 好みを言う El gusto
- 第5週 直説法現在 Presente de indicativo
- 第6週 心身の状態を表す Vocabulario del estado
- 第7週 電話での会話 Teléfono
- 第8週 中間試験
- 第9週 買い物と食べ物 Compra y comida
- 第10週 比較 Comparación
- 第11週 動詞 El verbo
- 第12週 現在完了 Pretérito perfecto
- 第13週 復習
- 第14週 最終試験
- 第15週 最終試験の結果を見ながらの演習

【教科書】

“Español útil para japoneses (日本人のための役に立つスペイン語)”, ジョルディ・ジュステ、坂東省次 (2003), 朝日出版社、その他必要に応じて印刷物を配布する

【成績の評価方法と評価項目】

宿題 30%、中間試験 30%、最終試験 40%.

【留意事項】

授業には遅刻をしないこと